

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 1987 号

Postoperative re-irradiation using stereotactic body radiotherapy for metastatic epidural spinal cord compression

(転移性脊髄圧迫に対する体幹部定位放射線治療を用いた除圧術後再照射の成績)

伊藤 慶 (いとう けい)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

転移性脊髄圧迫に対する標準治療は「除圧術と術後 30Gy/10 回照射」であるが、照射歴がある場合は術後外照射が困難である点、長期的な局所制御率が低い点という二つの limitation を有している。体幹部定位放射線治療 (SBRT) はいずれの限界も打開し得る期待された治療法であるが、照射歴を有した除圧術後の症例に対する本治療の臨床成績についてはこれまでに報告がない。

本論文は、照射歴を有する転移性脊髄圧迫に対する除圧術後 SBRT の臨床成績を初めて明らかにした論文であり、1 年局所制御率 70%という良好な成績であった。加えて局所制御に寄与する因子の解析から、適格症例の選定にまで言及している。適格症例の選定に Rades スコアが有用であるという本研究結果は、日常臨床で SBRT を施行するか否かの決定に際して、また将来的な臨床試験での適格基準として、使用可能な大変意義のある研究データである。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。